

38号は「食」についてです



宗像の自然の恵みを収穫するのが趣味です

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第38号

【学校給食の質の向上に投資を!】

宗像市の学校給食は小学校だけでなく中学校でも自校方式であること、地産地消率が高く、直売所から地場産品が納入できる体制を整備していること、漁協と連携して地場水産物の活用を進めていること、などを特徴としています。食のまち宗像として、日本の食料自給率の高い米、魚、野菜を質を向上させて学校給食に取り入れ、宗像ブランドとすべきと考えます。



ひのさと48の花見イベントでダッチオープンで旬のたけのこの丸焼き。宗像に移住してきてよかったと思える経験ができればと思います。学校給食については「自校式の給食であることに驚いた、温かい給食が食べられる、校内で作った野菜を使用したり、地域の農家と交流があり、勉強になる」とのことでした。

米は宗像地区産の元気つくし一等米を使用しています。これに加えて、宗像産米粉を使ったパンの導入を提案しました。米粉の活用や消費拡大にもつながっていくと考えます。

魚は国産品及び輸入物を併用、宗像産は漁獲量次第となるので旬の時期に活用しています。骨抜きなどの加工処理の問題もあるので保冷加工の機器の導入支援を行い、宗像産の卵を使ったアカモク入り厚焼き卵など地場産物を取り入れた加工品開発をすすめます。

野菜は平成30年の一般質問でオーガニック野菜を取り入れることを提案しました。

前回の一般質問で明らかになった課題に対して、＜価格差＞と＜量と種類の生産供給＞は、給食利用で買取り量を確約して供給を増やし交渉と投資を行う、＜衛生管理、食品規格、調理時間＞は調理下処理の器材に投資を行い解決すべきと提案しました。会派を超えた議員が一般質問を行っており、機が熟したと感じます。オーガニック野菜の理解が学校給食から消費者や供給者に広がり食のまち宗像の取組となればと考えます。

また、アフターコロナの価値観において、健康意識の高まりが食生活を見直す機会となり、食育の重要性が高まると言われています。自然が身近で生産者が近い特徴を活かして学校で食の教育を行い、家庭や地域とつなげていくのは重要な取組だと感じます。

このような価値を持つ学校給食に投資して、子育て世代の心に訴え、定住都市むなかたを実現させるべき、と考えます。

■ 食のまち宗像とはなにか？

宗像市は食のまちの取組を、新鮮で安全な食料を自給自足できる「地産地消」と高い品質と価格の「食のブランド」を両輪と考え、サーモン養殖事業などの企業や団体と協力した「先進事例」の特徴もあわせて推進しています。

コロナ禍で価値観が変わり、人のつながりを重視し、幸福や豊かさを求める志向となり、食については、旬を楽しむ免疫力を高める食生活、おいしさ、共に楽しむということが高価値となりました。それに伴い、その食材である農作物、海産物の付加価値も見直されています。この変化を見取り、どのような豊かさを誰にいかにつなげるかということが戦略として必要になります。そして、生きる根源である食をブランドとすることで、定住都市むなかたの実現につなげていくべきです。



ひのさと48のコミュニティコンポスト。残渣やビールの廃棄麦芽で堆肥を作り、野菜を育て、団地の脇で循環型農業を行っています。写真のさとのファーム収穫祭では移住者の方と会話がはずみ「宗像の恵まれた環境で育て、子どもや孫も、大人になっても宗像に住んでほしい」という言葉が印象的でした。



旬を感じて、タラの芽を収穫し、野イチゴでジャムを作りタケノコを羽釜でゆでます。自然の豊かさを実感します。

私が考える定住都市むなかたとは、宗像で育ち、外に出て、子育てで戻るまちです。宗像の風土で生まれ育ち、宗像を出て見聞を広めた人に、宗像で子どもを育てたいと選ばれるようなまちです。また、食のまち宗像とは、生産者が身近で、土や海や川といった風土になじみ、質のいい、安心・安全な食材が手に入り、食を楽しむことができるということを主軸に置くべきです。その根本には、古来、自然を信仰の対象とし、自然に感謝し、自然とともに生きるという価値観があると感じます。宗像の食で育ち、その経験がブランドとして広まり、そこに価値を感じる人が宗像を選び、定住する、そのような食のまちになるべきと考えます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

 日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

 吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

 一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 **吉田ごう**

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現 在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 10月 議長副議長研修、全国市議会議長会研究フォーラムや議会運営委員会視察、事務組合視察と行事がめじる押しです。

- 11月 少年野球の宗像ジュニア40周年記念パーティ(一期生です)と東郷小学校創立150周年記念式典(副実行委員長です)に参加。準備や寄付集めなど長い時間かけてきましたが、子ども達にはいい思い出になったと思います。

- 12月 ひのさと48で竹のクリスマスツリーをつくりました。点灯式は大盛り上がり。